

施設整備の気候変動に向けたロードマップ

基地等の施設の省エネルギー化

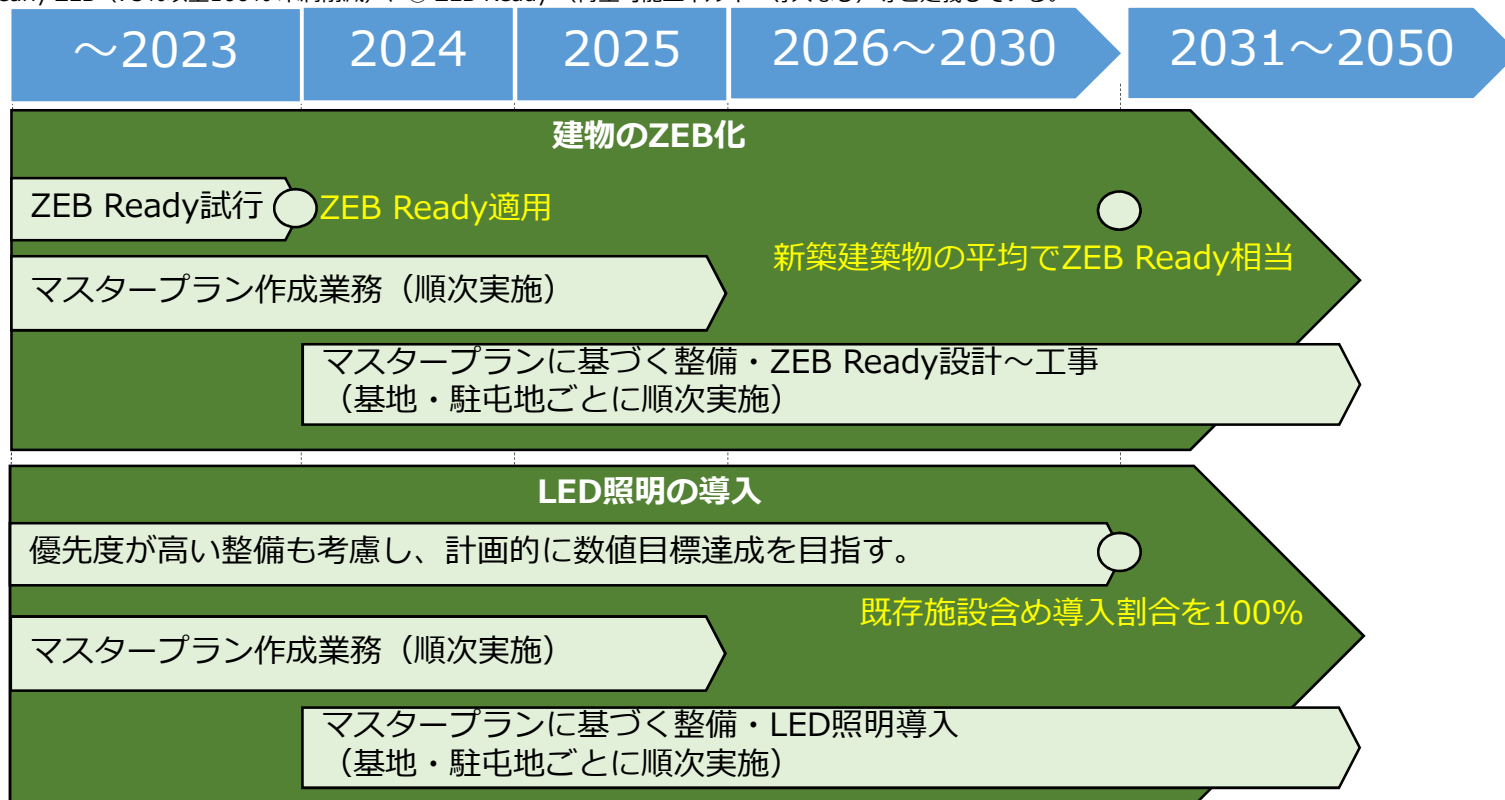
【建物のZEB化】

- 2030年度までに新築建築物の平均でZEB Ready※相当となることを目指す。
- 令和6年度よりZEB Ready相当の設計を行っていく。

【LED照明の導入】

- LED照明の導入割合を2030年度までに100%を目指す。
- 最適化事業による既存施設の建替えや大規模改修の中でLED照明の導入を促進していくとともに、2030年度までに建替え、大規模改修の予定がない既存施設に係る照明設備のLED化に関しても、計画的な予算措置、事業実施に努めていく。

※ZEB… 50%以上の省エネルギーを図ったうえで、再生可能エネルギー等の導入により、エネルギー消費量を更に削減した建築物について、その削減量に応じて、①『ZEB』（100%以上削減）、② Nearly ZEB（75%以上100%未満削減）、③ ZEB Ready（再生可能エネルギー導入なし）等と定義している。



防衛省気候変動対処戦略に
基づき2050カーボンニュート
ラルに貢献

注：各ロードマップは、技術開発・イノベーションの進捗等を踏まえ、適宜、見直しを実施する。

施設整備の気候変動に向けたロードマップ

施設等の効率化・温室効果ガス排出の削減

【太陽光発電設備等の設置】

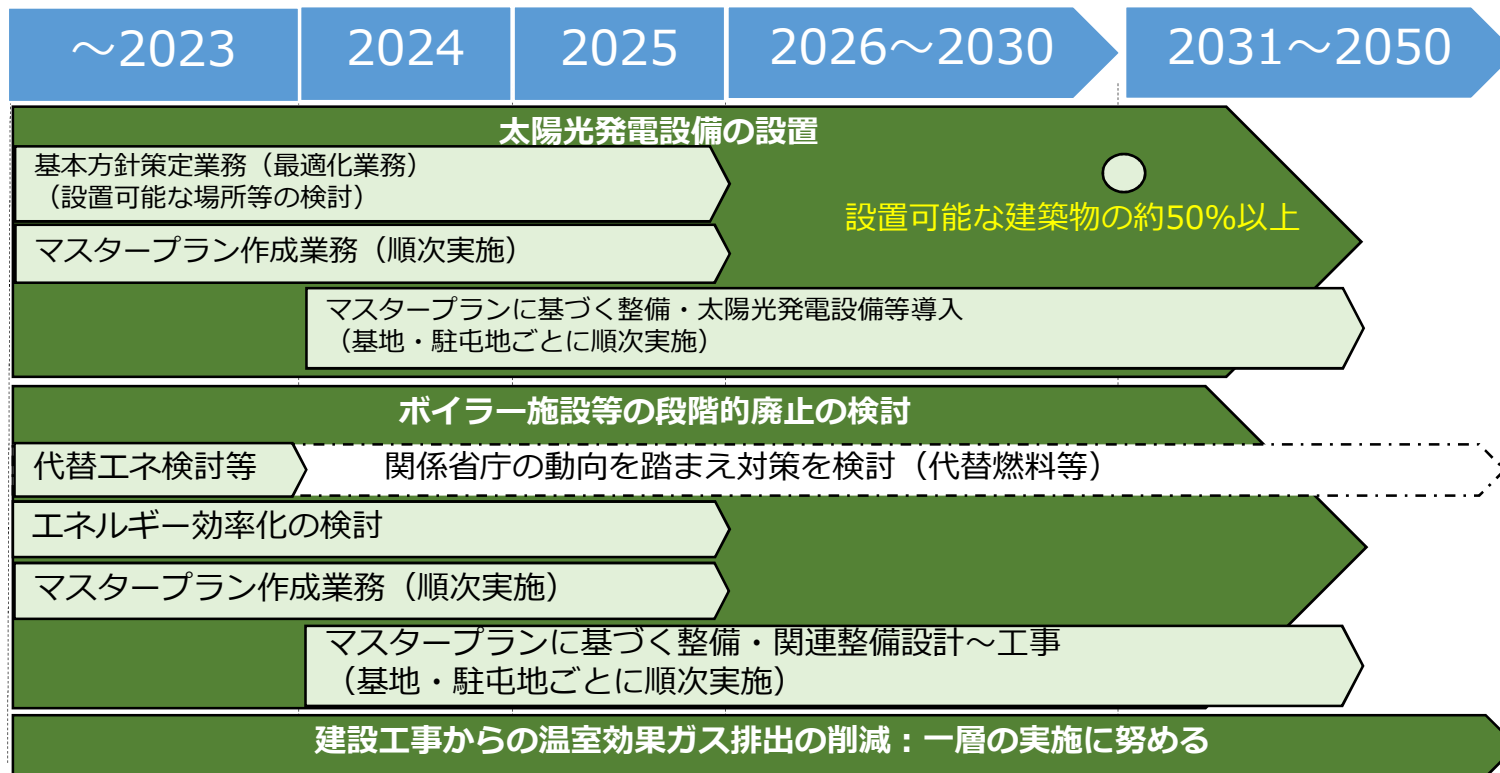
- 2030年度までに設置可能な建築物の棟数約50%以上に設置することを目指し、このうち、新規建替える建築物については100%設置することを目指す（その際、太陽光等発電と蓄電設備のマイクログリッドシステムの設置も併せて検討）。
- 最適化事業の中で、新設・改修建物設計時に太陽光発電の導入を検討していく。

【ボイラー施設の段階的廃止等の検討】

- エネルギー効率化の検討の中で地域性、部隊運用の特性なども考慮し基地・駐屯地毎のエネルギー検討を行い、最適化事業へ反映。
- 再生可能エネルギーによる電化、カーボンニュートラルな燃料への転換についても、資源エネルギー庁などの関係省庁の動向を考慮しつつ対策を検討していく。

【建設工事における温室効果ガス排出の削減等】

- 温室効果ガス排出量の少ない重機の使用等、関係省庁との連携を図りつつ一層の実施に努める。



防衛省気候変動対処戦略に
基づき2050カーボンニュート
ラルに貢献

注：各ロードマップは、技術開発・イノベーションの進捗等を踏まえ、適宜、見直しを実施する。

施設整備の気候変動に向けたロードマップ

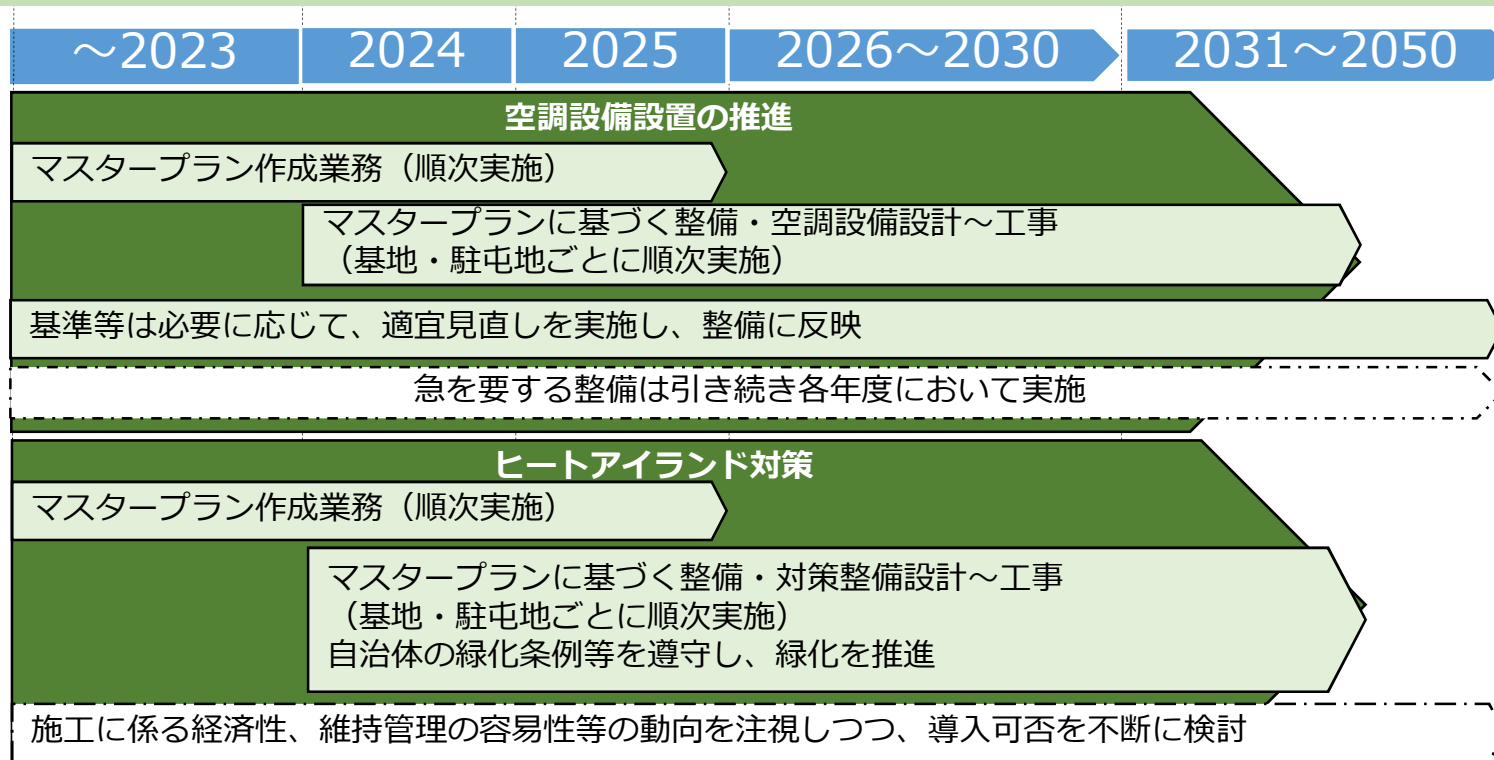
自衛隊員の生活・勤務環境の改善

【空調設備設置の推進】

- 熱波、異常高温による自衛隊員の健康リスク増加への対応のため、従来、空調設備を設置することとなっていなかった地域における隊舎や庁舎、整備工場等への必要に応じた空調設備の設置を推進する。
- 基準等の適宜見直しを行い、最適化事業において順次整備、更新を行う。（急を要する整備は毎年度実施）

【ヒートアイランド対策】

- 基地内におけるヒートアイランド対策として、駐屯地、基地等が所在する地方自治体の関係条例等を遵守し、緑化を進める。
- また、基地等の施設内の道路・歩道への保水性舗装等の導入、雨水貯留浸透施設の設置等の方策については、整備の経済性や有用性、維持管理の容易性などを検討し、「環境保全性に関する設計の手引き」を必要に応じて見直しする。



防衛省気候変動対応戦略に基づき2050カーボンニュートラルに貢献

防衛装備品の気候変動に向けたロードマップ^o

装備品等の温室効果ガス排出の削減

【研究開発を通じた防衛装備品の温室効果ガス排出削減】

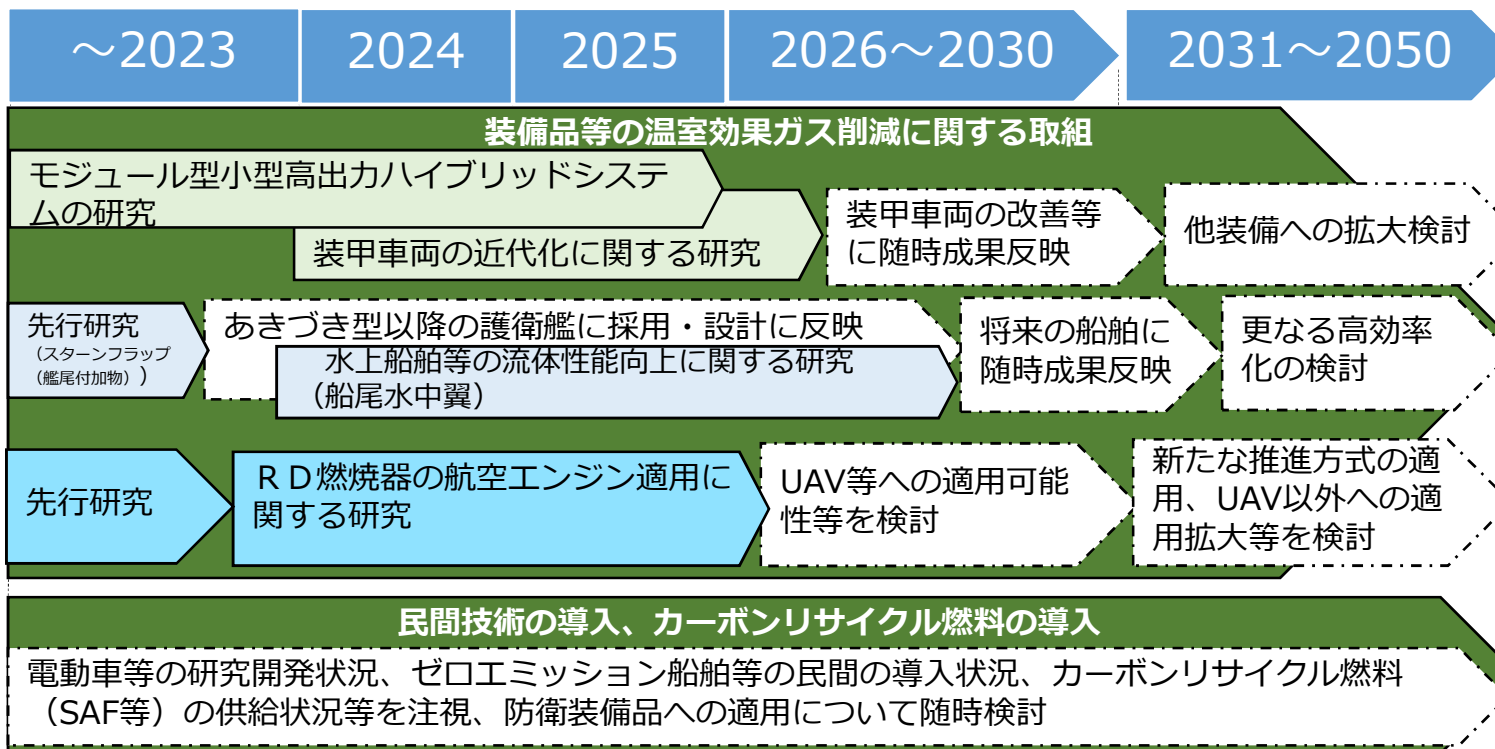
- 装備品等における気候変動にも資する内容として、以下の研究等を実施。
 - 小型高出力ハイブリッド技術の研究成果を現在化石燃料のみで稼働している各種装甲車両に随時反映することで、装甲車両に求められる運用性能を確保しながら、使用する化石燃料の消費を削減。
 - 水上船舶等の流体性能向上に関する研究は、継続して実施してきたところ、今後更なる高効率化の上、将来の船舶への随時成果反映を目指す。
 - 航空機の新たな推進方式として、ローテティング・デトネーション※（以下「RD」）燃焼器の航空エンジン適用に関する研究をすすめており、将来のUAV等に、本研究内での検討を始めとした新たな推進方式の成果を適宜反映。

【民間技術の防衛装備品への随時反映】

- その他、民間の研究開発状況、カーボンリサイクル燃料等の取組を注視、防衛装備品への適用について随時検討。

※ローテティング・デトネーション：燃焼を用いる既存エンジンと異なり、デトネーション（爆発）を定期的起こすことにより高い理論熱効率を発揮

※SAF：Sustainable Aviation Fuel 持続可能な航空燃料



防衛省気候変動対処戦略に
基づき2050カーボンニュート
ラルに貢献

注：各ロードマップは、技術開発・イノベーションの進捗等を踏まえ、適宜、見直しを実施する。